

依頼者	大府市役所 市民協働部 環境課
タイトル	大府市役所全職員を対象とした環境講座「再生可能エネルギー・省エネルギー」
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等への再生可能エネルギー、省エネルギーの導入に積極的な推進につながる内容の講演をしていただける講師を紹介してほしい。 	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電力・エネルギーシステムの評価に関する研究に従事し、電力・エネルギー部門優秀論文賞（2010年）や、再生可能エネルギーに関するシンポジウムでの講演、「平成26年度第4回エネルギー政策懇話会」への参加等、エネルギーに関して見識が深く、最新情報を熟知している、名古屋大学大学院工学研究科 電子情報システム専攻 准教授 加藤丈佳氏に依頼した。 ・また、環境省「地域グリーンニューデール基金事業」を活用した地域の取り組みを支援する「愛知県再生可能エネルギー等導入推進基金事業費補助金」事業を担っている、愛知県地球温暖化対策監 丹羽崇人氏に依頼した。 <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象にしているため、どの部署の職員にもわかりやすい一般的な内容にすること ・消防士や保育士など多様な職種の職員を対象にしているため、それぞれの職場での環境活動がイメージできるような、身近な具体的なことから伝える工夫をすること ・大府市の具体的なデータや愛知県での事例等を示し、行政職員としての理解を得る内容とすること ・各部署において関心が高まり、また職員の実際の行動変容を促す内容を入れること ・学識者の視点、行政職員の視点、それぞれの特色を活かした、愛知県内の現状や先進事例の紹介、再生エネルギー、省エネルギー普及のために必要なことについての話をし、再生可能エネルギー、省エネルギーのメリット・デメリットの両面を伝えること ・受講者の関心や興味を高め、再生可能エネルギーや省エネルギーに対する考えや意見を引き出すために、質問や意見交換の場面を設けること <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者が自分の部署で、講座での学びを活かせるように、講座終了後も再生可能エネルギー、省エネルギーについての意見交換ができる場を設けること ・再生可能エネルギー、自然エネルギー導入に向けての各部署での取組を周知すること ・環境関連や施設関連の部署のみの「課題」とせずに、部局横断的に取り組めるよう内部の連携を図ること 	
<p>学習内容と当日の様子</p> <p>再生可能エネルギー・省エネルギーについて知ろう！</p> <p>【講義1】「持続可能社会と自治体の役割～資源循環・生物多様性・地球温暖化～」 （愛知県環境部地球温暖化対策監 丹羽崇人氏）</p> <p>【講義2】「再生可能エネルギー発電への期待と課題」</p>	

(名古屋大学大学院工学研究科 電子情報システム専攻 准教授 加藤丈佳氏)

【講義1】「持続可能な社会と自治体の役割～資源循環・生物多様性・地球温暖化～」

- ・最初に、地球環境の現状、特に異常気象・絶滅・健康被害等の説明を行い、過去から現在、未来に向けて地球環境がどのように変化をしているかについて説明
- ・さらに、「持続可能な社会とはどんな社会か」について説明
- ・温暖化対策として、省エネによるCO₂の削減や低炭素製品の普及を継続し改善する仕組みづくりの重要性、また、今後は地球温暖化に対する適応策の推進が重要であることを説明
- ・適応策については、国からの政策に頼るのではなく、地域に対応できる具体的な施策展開が必要であり、特に、非常時における再生可能エネルギーの活用体制の整備など、自治体の役割が重要であることの確認
- ・最後に愛知県では、「あいちゼロエミッション・コミュニティ構想」の実現に向けて、「愛知県再生可能エネルギー等導入推進基金事業費補助金」を実施しており、環境と産業と暮らしが調和する、快適で安心なまちづくりを目指しており、それは持続可能な社会の実現であることを説明

【講義2】「再生可能エネルギー発電への期待と課題」

- ・最初に、エネルギーの供給と需要、太陽光発電の仕組みと種類、再生可能エネルギーの普及政策と導入状況、太陽光発電の大量導入による電力システムへの影響、太陽光発電の付加価値（災害時の電力供給）について説明
- ・次に、今後の課題や、電力供給の方法として、「太陽光発電から」「蓄電池から」「太陽光発電+自動車から」「カセットボンベ発電機から」等の説明
- ・最後に、「何のための再生可能エネルギーか?」、「今後、どうしていったらいいのか」を市町村の役割と合わせて考える。



<講義の様子>

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・コーディネーターに依頼したおかげで希望した内容の講座を受講でき、市職員が求められる再生可能エネルギーとの関わり合いというテーマに発展できた。
- ・環境学習コーディネート事業を利用したことによって、新たな講師の選択肢が増え、それに伴い講座内容の幅も広げることができた。
- ・毎年、外部講師による環境講座を実施するにあたり、講座内容と講師がなかなか決まらず、苦慮していた。今回、環境学習コーディネート事業を利用しスムーズに講座が開催でき、非常に有効な事業であると感じた。

○外部講師

- ・コーディネーターのおかげで、もう一人の講師との役割分担がうまくいった。また、打合せも担当者とのかわりもうまくいったと思う。
- ・日程調整・事前連絡等、きめ細やかに配慮いただけた。

その他

○今後の展開

- ・全職員に対する環境に関する講座はとても貴重である。引き続き行っていく。
- ・未来の地球、未来の愛知、未来の大府市を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいかを個人として、また市職員として考える時間や話し合う時間を持つ。

依頼者	一宮市役所 環境部 環境保全課
タイトル	平成 27 年度実施予定の市民対象向け「環境学習講座」について
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度に、市民を対象とした通年の「環境学習講座」の実施を検討している。各テーマに合う講師を紹介してほしい。テーマは、「地球温暖化/気候変動、省エネ・再エネ、自然・生物多様性、グリーンコンシューマー、公害関係、幼児環境教育、環境全般、その他」 春には講演を、夏、冬はフィールドでの体験学習等を実施して欲しい。 	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> NPO 法人気象キャスターネットワーク 虫鹿里佳氏、ユニー株式会社業務本部環境社会貢献部「お店探検隊」とよたエコフルタウン〜エコットを紹介した。 <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> 対象に併せて、わかりやすい一般的な内容にすること 実際の行動変容を促すような内容とすること それぞれの家庭での環境活動がイメージできるような、身近な具体的なことから伝える工夫をすること 受講者の関心や興味を高めるため、質問や意見交換の場面を設けること 持続可能な社会をつくるために自分には何ができるのか、地域の環境課題の改善・解決のために何ができるのかについて考え、意見を交わす対話型の講座にすること フィールド学習においては、身近な自然環境での気づきが促されるような企画にすること <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分達の部署でも講座での学びを活かせるように、講座終了後に意見交換ができる場を設けること 環境学習講座で何が大切か、部署で話し合う場を設けること 講座の目的を明確にするため、一宮市が目指している環境「一宮市環境基本計画～毎日が暮らしやすく、住みやすい環境である一宮市～」の内容を講師とも共有すること 一宮市が課題としている環境の問題を改善解決するための施策(環境基本計画等)を提供すること 聞くだけの講演ではなく、体験、参加型のプログラムを取り入れること テーマや講座の内容を、一般市民にとって、興味関心があり、自分事としてとらえることができ、かつ、行動につなげることができる身近なものにすること 	
<p>学習内容と当日の様子</p> <p>講座名：環境学習講座（計 3 回）</p> <p>講座内容：</p> <p>第 1 回：【講演】「わたしたちの暮らしに役立つ天気予報活用術」（平成 27 年 5 月 9 日開催）</p> <p>第 2 回：【郊外学習】「バスで行く環境学習講座」（平成 27 年 8 月 1 日開催）</p> <p>第 3 回：【体験学習】「環境にやさしいお買い物で地球を救う」（平成 27 年 11 月 14 日開催）</p>	

第1回



第2回



第3回



コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・こちらの要望を的確に捉えて講師、講座案を選定して頂いたので大満足です。
- ・打合せは的確にさせていただき、講座も打合せした内容に基づいて、要望にあった講座案を作って頂いた。
- ・環境学習講座を今後推進するにあたり、コーディネートを活用したい。
- ・企画する職員の学びにもなっている。
- ・コーディネーターを介するので、疑問や要望も気軽にできるので、不安がありません。

○外部講師

- ・一宮市役所さんにご縁ができて嬉しい。
- ・今後も協力体制をとれるようにしていきたい。

その他

特になし

依頼者	一宮市役所 環境部 環境保全課
タイトル	「こどもの感性が未来をつくる」
<p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者のご要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園での環境学習の重要性の啓発を園長会にて行いたい。 ・環境学習の重要性に加えて、ESD や ESD ユネスコ世界会議についても情報提供できる講師を紹介してほしい。 	
<p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園の園長会にて環境学習の大切さや意義を伝えることができ、なおかつ、ESD の概論や ESD ユネスコ世界会議の報告ができる講師として、中部7県の環境情報、環境活動、環境学習及び ESD のネットワークをもつ環境省中部環境パートナーシップ チーフプロデューサーの新海洋子氏を紹介した。 <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESD の大切さを伝えること ・保育園、幼稚園での環境学習の意義を伝える（環境学習を行う必要性を伝える）こと ・一宮市役所が行っている「幼児環境教育推進事業」の利用の促進になる内容を出来るだけ具体的に示すこと ・外部講師との連携の必要性について提案すること ・ESD の手法等、保育園・幼稚園で実施する工夫などを伝えること <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加される園長先生に研修の目的を事前に伝えておくこと ・市役所が幼児の環境学習を推進する目的を伝えること ・講演会の後に、「幼児環境教育推進事業」の案内を再度行うこと ・環境学習施設に講師募集の案内を広報すること ・事例紹介（できれば事例集）をすること 	
<p>学習内容と当日の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初に「子どもの感性がなぜ大切なのか」についての説明。その後、「子どもたちに必要なこと」「子どもと向き合う時に大切にしていること」「園の保育プログラム自慢！」を1人1人が書き、各グループにて共有 ・次に、地球の環境の現状や生物多様性、気候変動など深刻化する地球環境問題について説明し、ESD ユネスコ世界会議の閉会式で「ESD あいち・なごや子ども会議」が発表したメッセージから、子どもの可能性に触れたことについて話しがあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・最後に、スウェーデンでの幼児教育の事例を紹介し、幼児教育の大切さを説明。そして、園だけでなく、「子どもが主役の学びの場」をつくるために、幼稚園だけでなく、家庭・地球・学校の全てがタッグを組んで愛情をたっぷり注いだ育みや、たくさんのお出会いと遊びや体験ができる環境をつくりだすことが重要であると話し、地域の多様な外部講師をうまく活用することの有用さを説明した。 	



＜ワークショップの様子＞

コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・急な依頼であったにもかかわらず要望を反映して頂いた。
- ・コーディネーターがしっかり講師と連絡を取っており、確実にやりとりできたので全く不安がなかった。
- ・講座内容も打合せでの希望どおり、ターゲットである保育園長をとらえた講座であった。
- ・参加者や保育課から大変好評で、また機会を持ちたいと思った。
- ・講師の選定に苦慮しているため、コーディネートをして頂けると幅が広がり非常に助かる。また、より内容の濃い講座となるので、コーディネーター事業を活用したい。

○外部講師

- ・講座の目的が明確であったが、打合せによってより具体的になったので準備がしやすかった。
- ・短い時間だったが、職員の方と打合せをていねいに来たため、ニーズを把握することができた。
- ・直接連絡をとることなく、調整いただけるので助かった。こちらの質問にもきちんと応えていただいた。
- ・相手のニーズを第三者がていねいにきちんと伝えることによって、講師のノウハウや知識を十分に活用し、相手の満足度の高い講座をすることができる。

その他

○今後の展開

- ・各園で保育士に対する環境学習の大切さを伝える講義を行い、親子対象の環境学習イベントを開催するなど、保護者に対して環境学習の大切さを伝える講義を行っていく。